



チャン・ソジョン

所属: FILM DOROTHY

職位: プロデューサー

住所:

403-9 3rd floor, Seogyo-dong, Mapo-gu
Seoul, South Korea

連絡先:

Tel: +82-2-516-4006

Mobile: +82-10-3215-5175

Email: jang@dorothyfilm.com

FILM DOROTHY

住所:

403-9 3rd floor, Seogyo-dong, Mapo-gu
Seoul, South Korea

連絡先:

Tel: +82-2-516-4006

Email: jang@dorothyfilm.com

開花写真館

作品概要

개화사진관 | Gloomng flower

監督: チョン・ゲス | プロデューサー: チャン・ソジョン | 製作会社: FILM DOROTHY | シナリオ: オリジナル
作品区分: 実写劇映画 | ジャンル: ミステリー・ロマンス・ホラ | 製作形式: デジタル | 使用言語: 韓国語、日本語
撮影予定日: 2016. 01

直接制作費(KRW): 400,000,000 | 確保済み制作費(KRW): 150,000,000

共同製作 希望形態: 共同製作 | シナリオ: 5 稿

プロジェクトの進行状況: 資金調達、及びキャストイング進行中

製作計画書:

企画意図及び製作の方向性—1. 「開花写真館(1926年 京城(キョンソン)、愛に中毒になる)」は、1926年の京城を「愛に中毒になった時代」として新たに注目する。不安な時代、けれど、新しい文化に溢れた最も華麗なロマンスの時代。映画は、何かに中毒にならずには生きられなかった人々、その中でも、愛の毒に犯された者たちの美しく悲しいドラマを作品に収める予定である。2. 品格のあるミステリー・ロマンス・ホラー映画、開花写真館はミステリーとどんでん返し、クラシックな情緒と優雅な映像、そして新しいジャンルの融合で驚くべき魅力を披露することになるだろう。3. 全世界を魅了するウェルメイド映画。最もクラシックな時代、韓国と日本の独特な美しさを前面にアピールし、世界市場に挑戦状を突きつける。差別化された時代の胸を熱くする愛の物語として注目を集めることだろう。

監督の言葉: <開花写真館>は1920年代の京城を19世紀末の霧のロンドンのような感覚で描写した作品である。ユン・シムドクが愛を貫き通すために玄界灘に命を投げ、植民地となった朝鮮の若者たちが自分の遺書を新聞に寄稿した、がけっぶちのロマン主義の時代。何とかして自分自身を証明しようとした朝鮮の若者たちの切なる願いを作品に込めたいと思う。欲望に身を焦がせば焦がすほどに悲しい青春の無情さと、画面の外に飛び出してきそうなほど強烈で哀れな、互いにおぼれていく若者たちの痛みを描く。

制作スタッフ情報

監督: チョン・ゲス

作品経歴: 2012. 第48回 百想芸術大賞 シナリオ賞受賞

2011. "ラブ・フィクション" 脚本/演出

2009. "何をまた、そこまで" 脚本/演出

2008. "視線1318" 中の "ユー・アンド・ミー" 演出

2007. 第43回 百想芸術大賞 新人監督賞受賞、第4回 西江デビュー映画祭 アルバトロス賞

2006. "三叉路劇場" 音楽部門 / 脚本 / 演出

2001. "猫の夢" 演出

1996. "雌雄同体の不安" 演出

プロデューサー: チャン・ソジョン (海外行事参加者)

作品経歴: 美しく美しい恐怖 "奇談"(2007)

映画振興委員会支援作の青春ロマンス "18歳、19歳"(2012)、超豪華キャストのアクションコメディ "ミスGO!"(2012) を企画プロデュース及び製作し、商業性と芸術性を兼ね備えた映画を披露。現在、ソン・ドンイル、キム・ユジョン、ソン・ホジュン主演のサスペンスドラマ<秘密>で2015年 釜山国際映画祭に公式招待された。

作家: ビョン・ジアン

作品経歴: 2003. ベルリン映画祭 短編競争部門進出 "バス" 短編シナリオ

2011. 第1回 Screenwriters Pann 最終当選 "原罪者: 罪の主人を探して" 長編劇映画シナリオ

2012. 第2回 Screenwriters Pann 最終当選 "ミス・スマイル" 長編劇映画シナリオ

2012. CJ プロジェクトS 当選 "マイ・ビョンヤン・レディー"

2013. ソウル映像委員会 マルチマーケット・マルチスタ賞 "母胎ソロ"

製作会社: FILM DOROTHY

作品経歴: 2005年 設立。

製作 "奇談"(2007), "18歳、19歳"(2012), "ミスGO!"(2012)

撮影中 "JOY"(2015.撮影中) 企画開発 "愛も通訳できますか" "ラオス物語" "ロマンスの発見" "簡単な女" 等

参加にあたってのコメント(その他): 地理的に最も近い国、そして、情緒的に最も遠い国である日本。韓国の現代史において最も胸の痛い、恥部ともいえる一つの時代を語ろうとすると、それは日本との関係を除いて語ることはできません。何かを必死に求めようとする愛の物語を通じて、その喪失と痛恨の時代を再び振り返ってみようと思います。俳優と空間、資本等の交流を通じて両国がその時代を共感できることを願っています。